



## 第5回 TOMAS CUP 全国ジュニアテニスツアーチャンピオンズ大会

私は JOP の大会ですばらしい経験をたくさんしました。

その中から 1 つだけ選んで書くと私の感謝の気持ちが全部伝わりきれないと思ったので、いくつか書こうと思います。

まず私は、姉が参加したのでついて行った 2010 年のトーマスカップについて特別な気持ちがありました。

わー！！会場は前に見たことがある東レパンパシフィックのジュニア版みたいと思いました。

私は家族で大きなジュニア大会を何度か見に行ったことはあったし、中には JOP のことを軽く考えている人もいますが、トーマスカップは私がそれまでに見た大会の中で最高のものでした。

私は自分が大会に参加してプレーしたくなりました。私のコーチであるお父さんが、みんな勝ちたいと思っているんだよ、でも大きな目標をもっていて、相手よりも勝ちたいという気持ちの人がすばらしい選手になるんだよといいました。

もちろん参加する全大会で勝ちたいけど、大きな目標はトーマスカップに参加することに決めました。

そのからしばらくして私は、トーマスカップへの出場権をもらえる 1 月最後の大会で優勝することができました。気持ちがほっとしたことを覚えています。私はいつも体が小さいといわれていたので、もし本当に欲しいと強く思えば私にでも何でもできることをあのときの優勝がしょうめいしてくれました。あの 1 つの優勝ですべてがかわりました。学校の成績も上がりました。

そのあと私は、私より大きく、強く、早く上手な相手に対してもあきらめずに逆転して大会で優勝をたくさんしました。

私はまだ 9 才ですが、西多摩の大会で 1 - 4 で負けていたのを 7 - 5 で逆転して、12 才以下の部で優勝しました。大磯の大会では、2 - 5 で負けていて 15 - 40 で相手はダブルマッチポイントでした。でも私は戦い続けて 7 - 5 で逆転勝ちをしました。この時の相手はすばらしい選手で、じつは私の姉が前に負けたことのある選手でした。

でも 1 番忘れられない思い出は、今アメリカで有名な“Tebowing”を私が試合で初めてやった日におこったことです。“Tebowing”はアメリカンフットボール選手としてすばらしいといわれているクォーターバックの選手がやっているお祈りです。なぜ彼が有名になったかというと、彼はぜったい試合を途中であきらめないし、信じられない逆転勝利を何度も何度もしているからです。Tebow（ティーボウ）のように、私は全国 1 位の選手相手に大磯の決勝で私のサーブでゲームスコアが 0 - 5、ラブー 30 まで追いこまれました。でも私はあきらめないで最後まで戦い 7 - 5 で逆転優勝できました。そんなにたくさんの人が経験できることではないと思います。私はずっとこの経験を覚えていると思います。

私は大会に参加してずっと一緒にテニスをやっていききたい親友ができました。

私は私を強くしてくれる友だちやライバルたちに感謝します。私は JOP とスポーツサンライズのみなさんにすばらしい思い出をあたえてくださったことに感謝します。そして私にテニスとすばらしい人生を与えてくれる神のご加護に感謝します。